

リサイクルとゴミの減量 ほかの国はどうしているか

2003年10月10日

(氏名)

I. デンマーク

A. 再充填可能な容器

容器・包装を減らしたりリサイクルするために、デンマークではビールと清涼飲料については再充填可能なリターナブルとカリフィラブルといいます。容器しか認めないということですから、使い捨ての容器は売れませんし、当然ごみも出ません。

B. 日本では

日本は自動販売機がたいへん多い国です。日本一国で売られている缶飲料はヨーロッパ全部で売られている缶飲料より多いのです。この点でも日本は大量廃棄社会の典型のような国になっていますから、もし減らすという発想に立ったときに、デンマーク的な方法は、ひとつのわかりやすい方法です。

II. フィンランド

A. 税金をかける

フィンランドではビールや清涼飲料を使い捨て容器で売ってもいいのです。ただし、使い捨て容器には税金がかかります。使い捨て容器を使うと市町村では処理費用がかかるので、その費用分を税としてとろうという方法です。使い捨て容器一個当たり二十円ぐらいです。つまり、同じビールでも使い捨て容器の方を選ぶと、税金分二十円高いとしたら、普通の人は買いません。フィンランドで調べたら、使い捨て容器は5%以下です。

B. 日本では

日本では、消費者・企業等の強い反対により、「処理費用税金」をかけることができない状態です。毎日の「ごみ」も市町村が「無料」で集め、処理しています。

III. ドイツ

A. ごみ発生防止と再利用

ドイツは、ごみの発生をできるだけ抑え（回避）、出たものは再利用、再資源化（管理）、再利用・再資源化できないものを最後に処理する、ということが、法律に組み込まれています。

B. 日本では

日本の法律は、ごみを処理して掃き清めるという法律です。何度かの法改正でごみの発生抑制や再利用・再資源化を位置づけるようになってきてはいますが、「基本的な法の精神がちがう」ときびしい意見をいう人もいます。

(MS ワード使用法 : []、 は「ボタン」使用できることが多い。変更[表示、ルールバー])

リサイクルとゴミの減量 ほかの国はどうしているか

[書式、フォント、スタイル、太字]

[書式、フォント、日本語用のフォント、MS ゴシック]

[書式、フォント、サイズ、14]

[書式、書式の詳細設定、段落、配置、中央揃え]

2003 年 10 月 10 日

(氏名)

[書式、書式の詳細設定、段落、配置、右揃え]

IV. デンマーク

[書式、箇条書きと段落番号、段落番号、I. II. III.]

[書式、段落、インデントと行間隔、インデント、左のインデント幅、9.5mm] (I)

[書式、段落、インデントと行間隔、インデント、最初の行、ぶら下げ] (2 行目ある場合)

[書式、段落、インデントと行間隔、インデント、幅、3.2mm] (デンマーク)

C. 再充填可能な容器

[書式、箇条書きと段落番号、段落番号、A. B. C.]

[書式、段落、インデントと行間隔、インデント、左のインデント幅、12.7mm] (A)

[書式、段落、インデントと行間隔、インデント、最初の行、ぶら下げ] (2 行目ある場合)

[書式、段落、インデントと行間隔、インデント、幅、6.3mm] (再充填可能な容器)

容器・包装を減らしたりリサイクルするために、デンマークではビールと清涼飲料については再充填可能な リターナブルとかリフィラブルといいます

容器しか認めないということですから、使い捨ての容器は売れませんし、当然ごみも出ません。

[書式、段落、インデントと行間隔、インデント、左のインデント幅、5.14 字] (容器...)

[書式、段落、インデントと行間隔、インデント、最初の行、字下げ] (容器・包装を...)

[書式、段落、インデントと行間隔、インデント、幅、1 字] (容器・包装を...)

D. 日本では

(以下略)